



児童玄関で考えたこと

わたしたちの羽合小学校にもHP（ホームページ）があります。インターネットで「羽合小学校」と検索すると出てきますので、ぜひご覧下さい。

昨日のHPで児童玄関の下足箱の紹介をしました。4段の下足箱の上の段には下級生の手が届かないので、今年から上の2段を上級生、下の2段を下級生が使うようにしています。上級生がきちんと整頓して下足を入れている姿を、下級生もまねて下足をいれています。だから、整頓されている上級生の下足箱の下には、整頓された下級生の下足が並んでいます。美しい下足箱は上級生の姿勢です。

私は、入学式の式辞で上級生に次のように呼びかけました。

「みなさんが、少しのこともいい加減にせず一生懸命取り組む姿が、1年生を育てます。昨日、6年生がこの入学式の準備を行いました。まさに、労を惜しまないすばらしい姿でした。これこそが、あこがれと尊敬を集める上級生の姿ではないでしょうか。」

私の呼びかけが、児童玄関の下足箱に形となって表れています。うれしいですね。

そしてもうひとつ感じたことがあります。

感謝の気持ちを、靴を大切に扱うことで表すことができる人は伸びるということです。

下足を大切に扱うには少しですが手間がかかります。丁寧に並べること、きれいに使うことなどほんのちょっとしたことですが、そのほんの少しの手間もいい加減にせず、物事に取り組むことができる人は、力を伸ばしていくと考えています。

だからわたしたちは、物を大切に下さい、大切に作る手間を惜しんではいけない（労を惜しむな）と指導しています。

また、わたしたちは、こどもたちみんなに伸びてほしいので下足をそろえることを「**こころをそろえる**」と指導しています。形からはいるのも指導です。「まなぶ」は「まねぶ」「まねる」ことです。形を学ぶことで心に至ります。「こころ」から、「かたち」から、両面からこどもたちを育てていきたいものです。

何事にも労を惜しまず取り組めば力が伸びるのは当たり前のことです。労を惜しんでいるかどうかは形となる物や行動に表れます。だからわたしたちは下足に限らず、**形となった物や行動から読み取り、改めるものは改め、賞賛すべきは賞賛**することが大切です。こどもたちが労を惜しまず頑張っている姿はうれしいものです。成長がそこに見えるからです。

特に意識することなく、**一所懸命が当たり前**になることが目標です。師弟同行、私達も頑張らしましょう。

こどもたちの元気な「おはようございます」は心を明るく、幸せな気持ちにします。こどもたちが幸せを分けてくれるような気がします。そんなこどもたちを、毎朝送り出しているご家庭に感謝します。ありがとうございます。